

報道機関各位

令和6年(2024年)6月21日(金)15時00分配付

タイトル	日本遺産「炭鉄港」への江別市追加認定について								
配付資料	追加された構成文化財の写真一覧 ※電子データを希望の場合は、下記担当(後志)まで御連絡ください。								
内容 (目的・趣旨)	<p style="text-align: center;">ポイント</p> <p style="text-align: center;">■ 日本遺産「炭鉄港」の新たな構成文化財として、江別市内のれんがや鉄道に関する施設など4件が認定</p> <p>炭鉄港推進協議会(事務局:空知総合振興局地域創生部地域政策課内)では、江別市のれんがの歴史が日本遺産「炭鉄港」と密接に関係していることなどから、「炭鉄港」の構成文化財に江別市内の文化財を加えることについて、今年2月に文化庁に申請していたところ、この度、以下のとおり構成文化財として認定されました。</p> <p>【追加された構成文化財】</p> <ol style="list-style-type: none"> 北海道炭礦鉄道野幌煉化工場のれんが 野幌煉化工場で製造され、日本製鋼所旧火力発電所や旧北海道炭礦鉄道岩見沢工場で使われた野幌れんが。 王子エフテックス江別工場 れんが倉庫群 野幌れんがで建築された市内最古の倉庫を含む、れんが倉庫群。 米澤煉瓦工場 操業中では道内最古のれんが工場。工場のシンボルである煙突は、石炭焼き時代から現在まで使われており、基部を間近に見学可能(要予約)。 炭鉱鉄道遺産群(山田コレクション) 北炭夕張鉄道、三菱美唄鉄道、三菱大夕張鉄道など、炭鉱の鉄道で使われた希少な蒸気機関車や貨車などのほか、それらの鉄道関連物品。 <p>【自治体数】 これまで日本遺産「炭鉄港」の構成文化財は12市町に所在していましたが、江別市を加え、13市町になりました。</p> <p>【文化財数】 これまで45あった構成文化財に上記4件を加え、49件になりました。</p>								
参考	平成16年10月 江別市のれんがが北海道遺産に認定 令和5年9月 江別市が炭鉄港推進協議会へ加入								
報道解禁	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<table border="1"> <tr> <td>テレビ・ラジオ・インターネット</td> <td>月 日 ()</td> <td>時以降</td> </tr> <tr> <td>新聞</td> <td>月 日 ()</td> <td>刊以降</td> </tr> </table>	テレビ・ラジオ・インターネット	月 日 ()	時以降	新聞	月 日 ()	刊以降	
テレビ・ラジオ・インターネット	月 日 ()	時以降							
新聞	月 日 ()	刊以降							
報道(取材)に当たってのお願い	炭鉄港の更なる普及啓発に向けて、積極的な報道をお願いします。								
他のクラブとの同時発表	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 空知総合振興局記者クラブ、胆振総合振興局記者クラブ、石狩振興局記者クラブ、道政記者クラブ、関係市町								
担当窓口	空知総合振興局地域創生部地域政策課(担当者:高橋、佐々木、藤堂) TEL 0126-20-0034 後志総合振興局地域創生部地域政策課 課長 菊池 博幸 〒044-8588 北海道虻田郡倶知安町北1条東2丁目 TEL 0136-23-1340								

追加された構成文化財の写真一覧

北海道炭礦鉄道野幌煉化工場のれんが



王子エフテックス江別工場 れんが倉庫群



米澤煉瓦工場



炭鉱鉄道遺産群（山田コレクション）

